

代表取締役社長 山森誠司のコメントが、2023年1月1日付け、沖縄県内2紙の「新春トップインタビュー」に掲載されました。

【琉球新報】

- ・ 2022年7月に沖縄通信ネットワークから「OTNet」に社名を変更した。
- ・ 社内でコミュニケーションを密にすることを大事にしている。
- ・ 県内で初めて経産省のDX認定事業者となった。
- ・ スペシャリストを養成するため、社員全員がDXの基礎を学び、まずDXで何ができるかを把握して社員のレベルを上げ、先々はその知識を外部向けにも活用する。
- ・ 人材は社の財産だと思っている。
- ・ 他社様とも組みながら、沖縄をよくするプロジェクトを動かしていきたい。
- ・ 情報セキュリティに取り組むOTNetというイメージをさらに進化させる。

【沖縄タイムス】

- ・ 安心して安全なネットワークを提供するのが、われわれの使命だと、あらためて認識し、従業員にも信頼性が大事だと常日頃から伝えている。
- ・ DX化が比較的遅れている沖縄県において、OTNetとして協力できるよう社員全員でDX基礎研修を行い、DX人材の育成に努めていく。その上でさらに一定数のDXスペシャリストを育成していく。
- ・ 沖縄セルラー電話が主となって、6月末頃までには宮古島、石垣島、久米島などを含めた離島に海底ケーブルの建設が行われる。
- ・ バーチャルな世界を観光で見せるなどの「観光DX」は沖縄に合ったサービス。
- ・ 県内経済の回復を下支えしていくことは、一番大きな使命だと捉えている。

※ 詳細な記事内容につきまして、琉球新報、沖縄タイムス2紙の該当記事をご確認ください。